

8 35種の指標生物の解説と分布図 (メッシュ図)

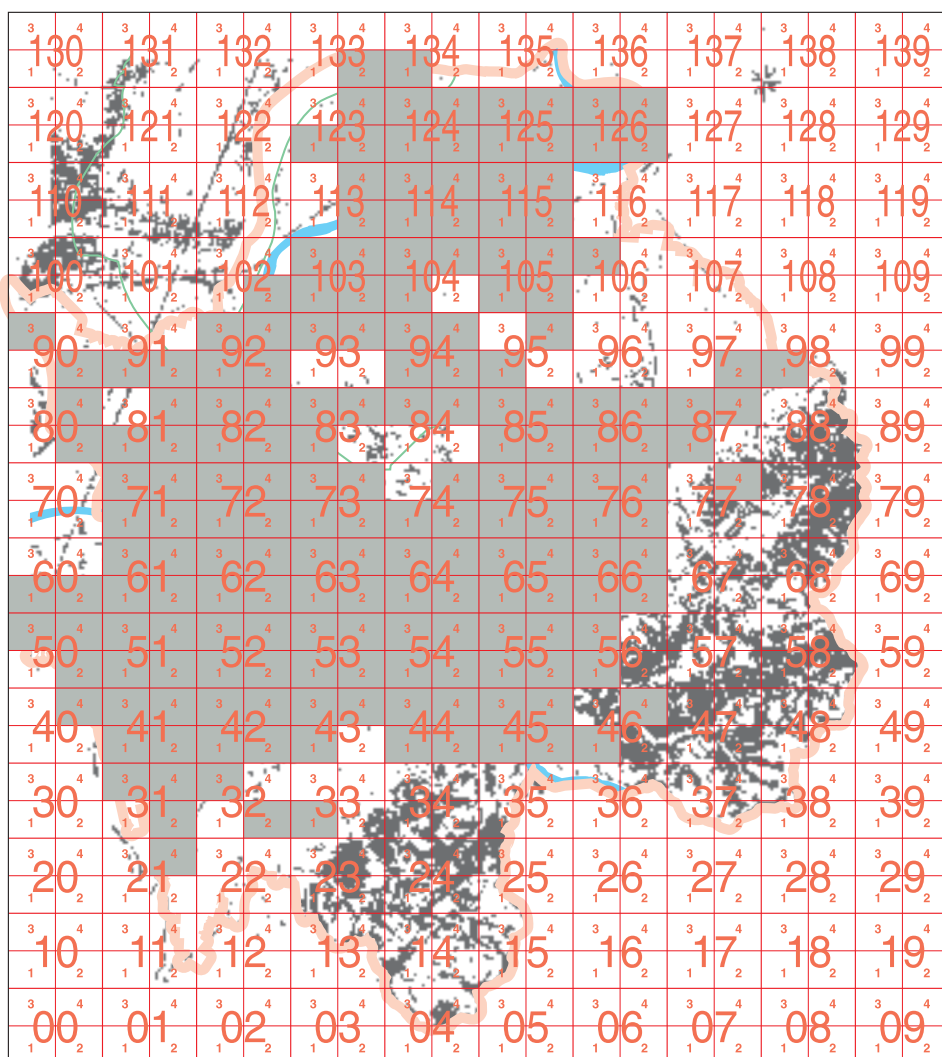
植物 ① オオイヌノフグリ (ゴマノハグサ科)



川の土手、道ばたなどの日当たりの良い開けた所を好むので、保内、大崎、月岡方面の丘陵地帯には見つかりません。また、純水田地帯にも見つかりません。農道や畦に除草剤を散布するためでしょう。これらを除くと、ほぼ全市域で分布が確認されました。丈の長い他の草にさえぎられず、日当たりが良ければ、街中のわずかな土地にも生えていることがわかりました。

明治初期に日本に入ってきて以来、日本の気候や土壌などの条件が合っていたものと考えられます。植物体が小さいだけに在来種を大きく圧迫するとは考えられず、日本の風土と日本人の感性にとけこんだ方を大事にしてよいのではないのでしょうか。

塗りつぶしてあるメッシュは、そこで指標生物が見つかったことをしめています。1件でも報告があれば、塗りつぶしてあります。また、合計欄の()内の数字は、発見のあったメッシュの実数です。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	30	92
4	60	143
5	16	27
6	5	12
7		
8		
9		
10	1	1
11		
12	1	1
1		
2		
合計	113	(184) 276

花の時期・色：3～5月 ルリ色

大 き さ：10～20cm 低く四方にはうように広がります。

特 徴：外来種ながら日本の風土にとけこみ、雪消えと共に日本の春を彩ります。果実の形が犬の陰のう（ふぐり）に似ていることから付いた名前です。

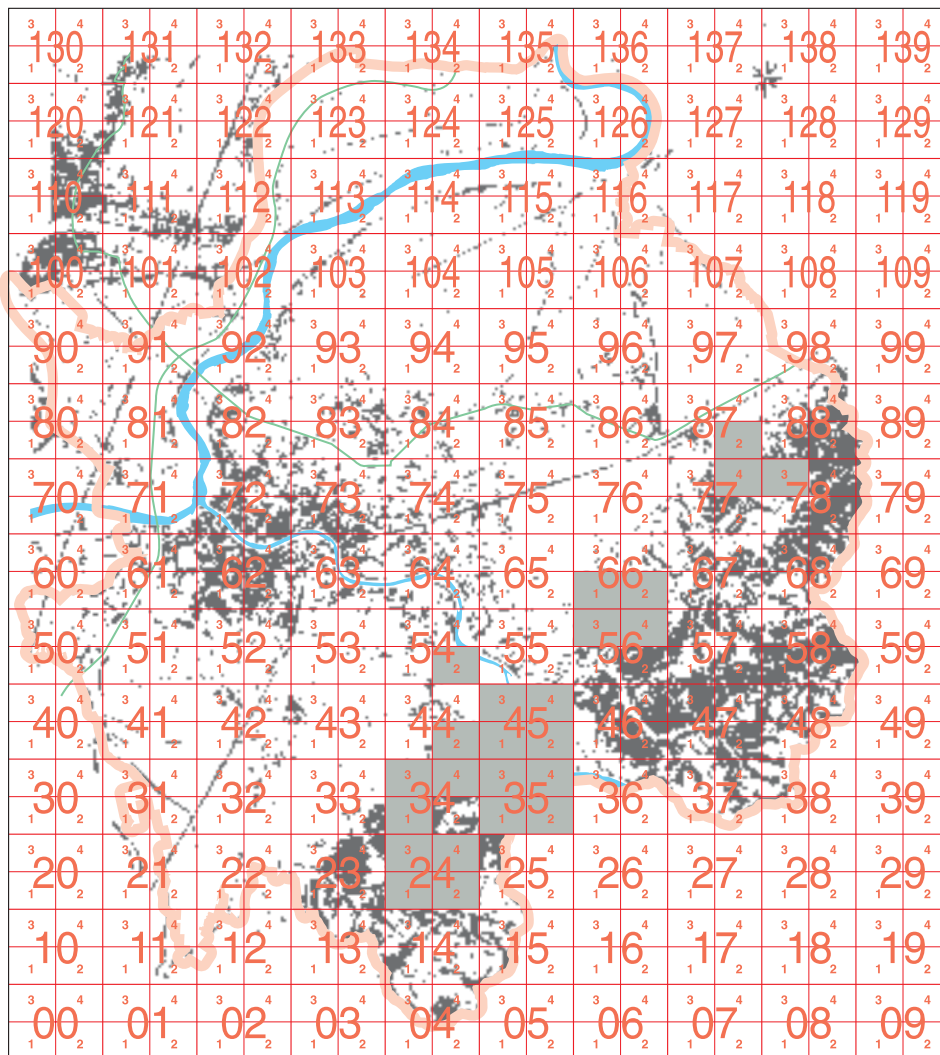
植物 ② カタクリ (ユリ科)



メッシュ図を見ると、保内、大崎、月岡方面の丘陵地に分布していることがわかります。里山を代表する花と言ってよいでしょう。4月の報告がほとんどで、春の妖精ともいわれる命の短い花です。周りの木々が葉を茂らせないうちに果実を実らせ、地中の鱗茎を太らせた葉は、役目を終えて早々に姿を消してしまいます。鱗茎からとったでんぶんが本来のカタクリ粉です。

日当たりの良い里山によく育ち、見事な群落を作ります。しかし最近はその数が減るばかりです。人が薪や炭を必要としなくなり、里山に人の手が入らなくなったり、スギ林に変わったりすると暗くなって消えていきます。

豊かな里山を示す指標となる代表的な花です。守り広げていく努力が待たれています。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	1	1
4	37	27
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
1		
2		
合計	38	(27) 28

花の時期・色：3～4月 薄い紅紫色

大 き さ：20～25cm

特 徴：山の日当たりの良い雑木林で群生し、雪消えとともに2枚の葉の間から長い茎を伸ばして、1個の花を下向きにつけます。

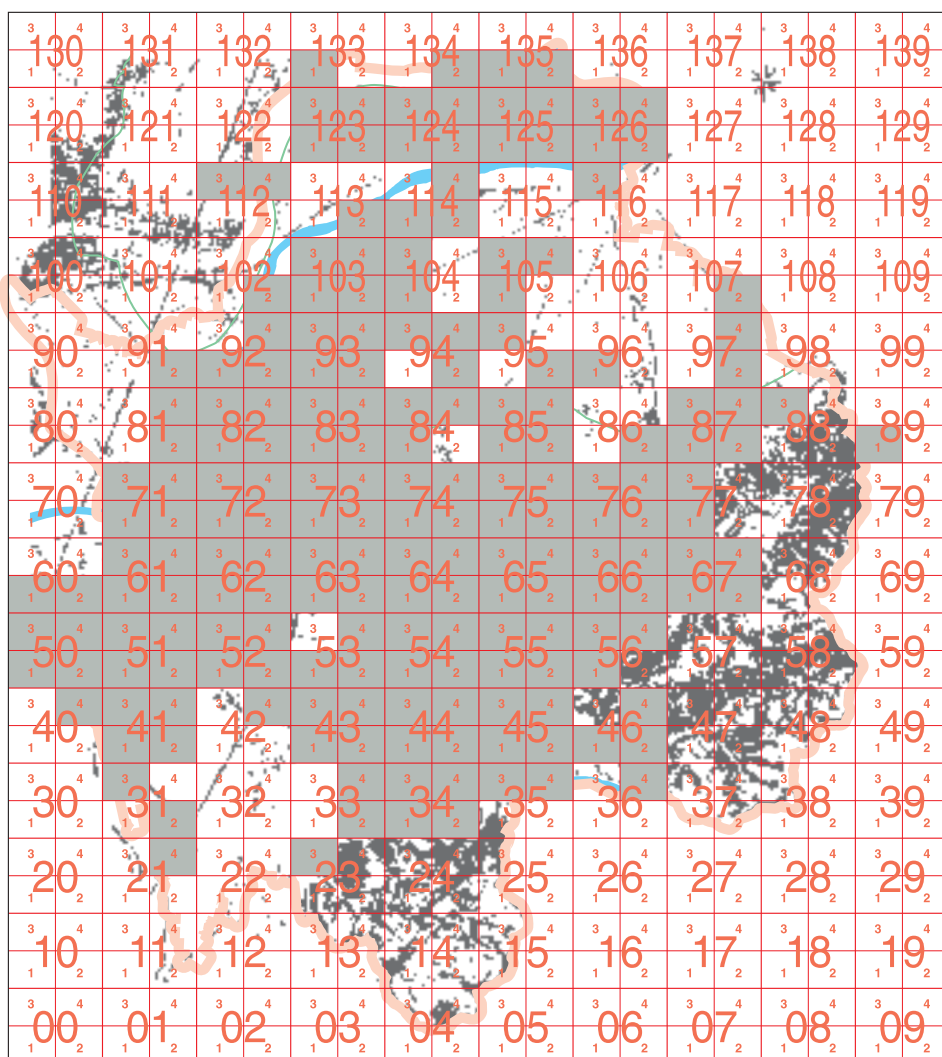
植物 ③ オオバコ（オオバコ科）



ほぼ全市域に見られますが、純水田地帯には、ほとんど見つかりませんでした。メッシュ図の空白部分はそれを示しています。学名が「足の裏」という意味のように、人の出入りの多いところに生えていることが顕著に見られました。

花は下の方から咲き始め、熟すとカプセル状のものが二つに割れ、多くの種がこぼれ落ちます。雨に濡れると、外側が粘着性を帯びてゼリー状になり、靴底や車のタイヤなどに付着して運ばれます。こうして、オオバコはたくさんの仲間を増やしてきました。

花茎を絡ませて引っ張り合ったり（草相撲）、葉の両端を引き、糸（葉脈）を出したりして遊びます。お茶やせき止めの生薬として利用されています。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	4	5
4	17	45
5	39	92
6	36	83
7	22	52
8	18	55
9	16	45
10	13	68
11	8	40
12	2	3
1		
2		
合計	175	(193) 488

花の時期・色：4～9月 白色

大 き さ：10～20cm

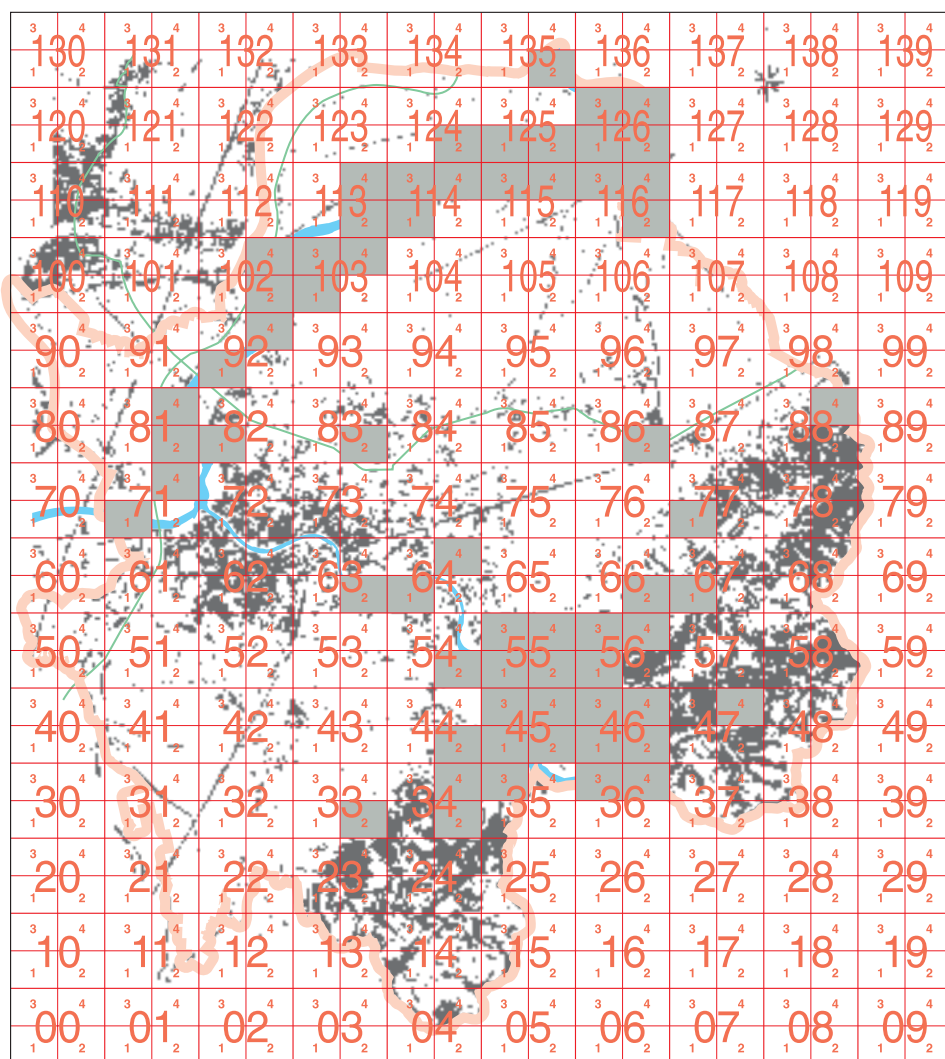
特 徴：日当たりさえ良ければいたるところに生えます。葉は根本だけにあり、その真ん中からまっすぐに伸びた茎に小さな花をつけます。



信濃川、五十嵐川の土手、麻布、田川の林道沿いなどに分布が見られます。信濃川の土手でも定期的に草を短く刈り込む所ではなく、根元にロゼット状の葉があるので、軽い刈り払いをされると、他の草がなくなり逆に勢いを増すようです。五十嵐川の土手でも、セイタカアワダチソウやオオオナモミという外来種や、オオハナウドのような大型種が旺盛な所には生育していません。

高い草丈を持っているので、草やぶの中から紅紫色の花をのぞかせ、初夏を告げています。また、葉の端はとげ状になっていて触ると痛く、球形の花首（総苞）^{そうほう}に触るとべたべたします。

アザミ類はすべて食べることができますが、ノアザミは一番おいしくないと言われています。



調査月	報告件数	メッシュ数
3		
4	2	4
5	13	30
6	24	43
7		
8	1	3
9		
10	2	7
11		
12		
1		
2		
合計	42	(62) 87

花の時期・色：5～6月 紅紫色

大 き さ：0.5～1m

特 徴：土手や道ばたなどの草やぶからひととき高く伸び、緑の中で紅紫の花が鮮やかに夏の到来を告げます。

植物

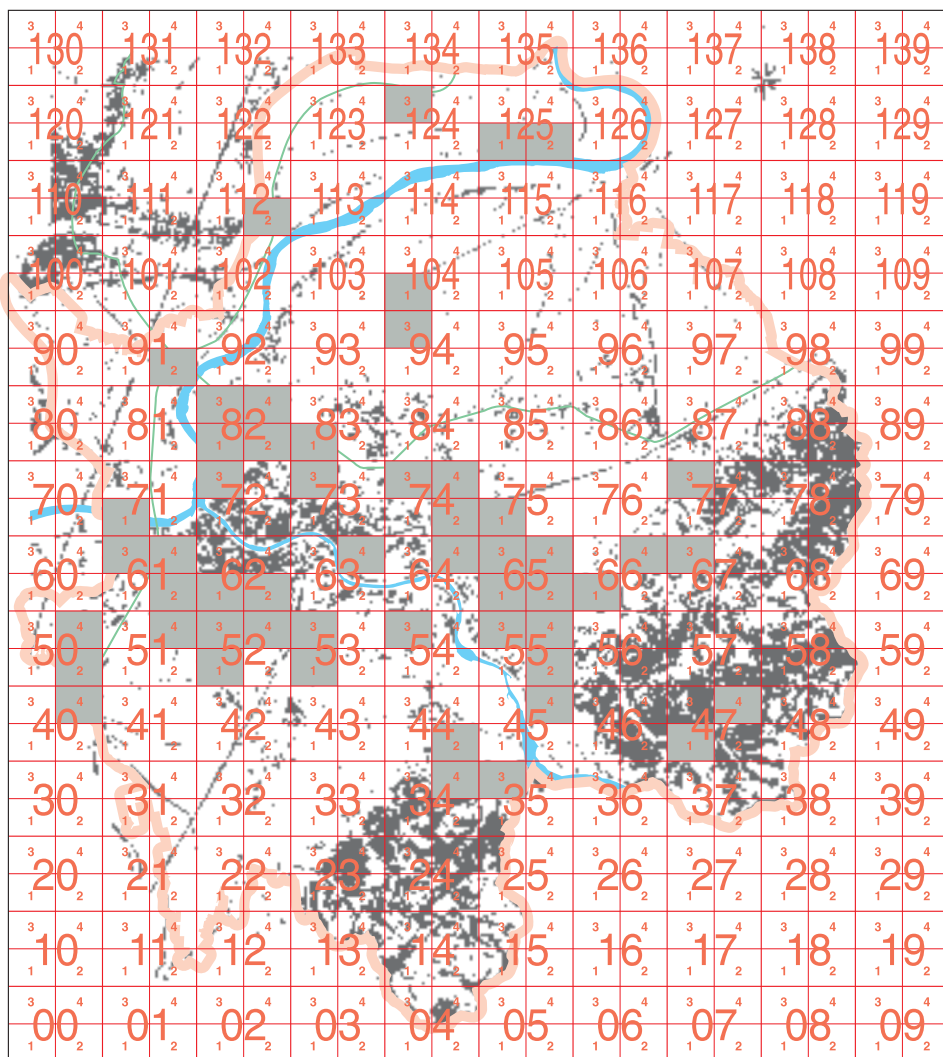
⑤ ネジバナ (ラン科)



市内中央部に多く見られるのは、園芸用に栽培したものが鉢の外へ逃げ出したものが多いように思われます。日当たりが良くないと生きていけません。道の端に積もった土ぼこりの中や、舗装道路の裂け目など条件の良くない所にも太く白い根をおろしています。

長い茎に美しいピンク色の花を下かららせん状に咲かせます。植物の多くは巻く方向が決まっているものですが、ネジバナは半々位のように、途中から変わるものもあります。ランの仲間は、花粉の塊を丸ごと虫に運ばせます。一つの実に数えきれないほどの種ができ、細かくて茶色の粉のようです。

高級な花として名の知れたカトレアと同じ仲間で、そっと見守りたい一番身近な可愛いランです。



調査月	報告件数	メッシュ数
3		
4		
5	10	17
6	16	17
7	21	32
8	2	2
9	4	2
10		
11		
12		
1		
2		
合計	53	(53) 70

花の時期・色： 5～7月 桃色

大 き さ： 30～40cm

特 徴： 日当たりの良い草地や芝生に生える野生のランです。たくさんの小さな花が、らせん状に咲くことからこの名前がつけました。モジズリという別名もあります。

植物 ⑥ スイバ（タデ科）



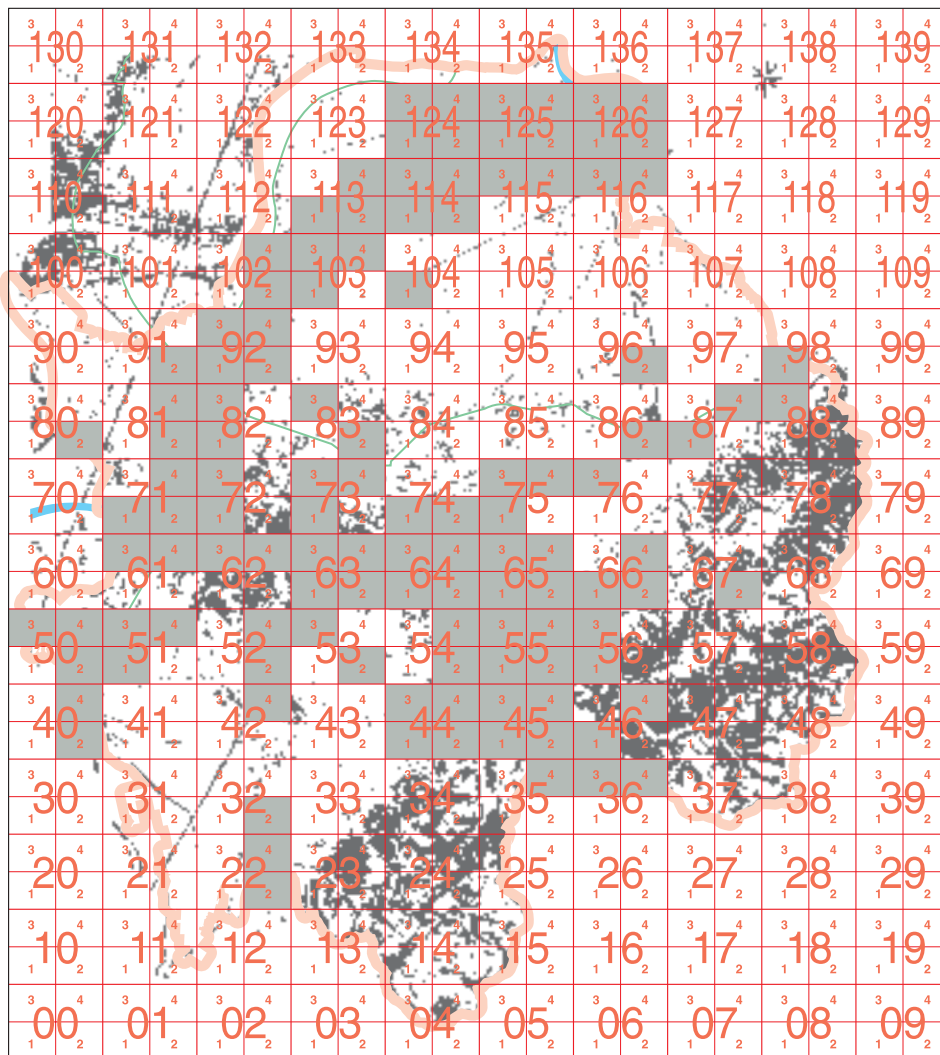
信濃川や五十嵐川沿いの堤防やJR信越線に沿って多く見られることが、メッシュ図にはっきりと現れました。

タデ科の植物でソバの仲間です。スカンポとも呼ばれますが、三条近辺では、スカンポはイタドリのことを言うようです。

日当たりが良く酸性の土地が好きで、その指標にもなる植物です。

小さな美しい花をたくさん付ける、雌雄異株^{しゅういしゅ}（下の特徴を参照）の花です。雌の花穂は果実に翼が付いていて、乾燥しやすくドライフラワーとして楽しめ、根もきれいな黄色で草木染めや薬草（皮ふ炎や下剤など）として使われています。

若い葉は食用にされます。欧米ではスイバに近い仲間「ソレル」が料理に使われるそうです。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	4	5
4	4	25
5	24	87
6	15	43
7	2	12
8	1	1
9	1	1
10	1	5
11		
12		
1		
2		
合計	52	(119) 179

花の時期・色：5～7月 雄花～淡黄色、雌花～紅色

大 き さ：30～80cm

特 徴：草地や道ばた、土手などに生えています。葉をかむと酸っぱい味がするので、この名前がつけました。雌花が咲く株と雄花の咲く株が別々です。

植物

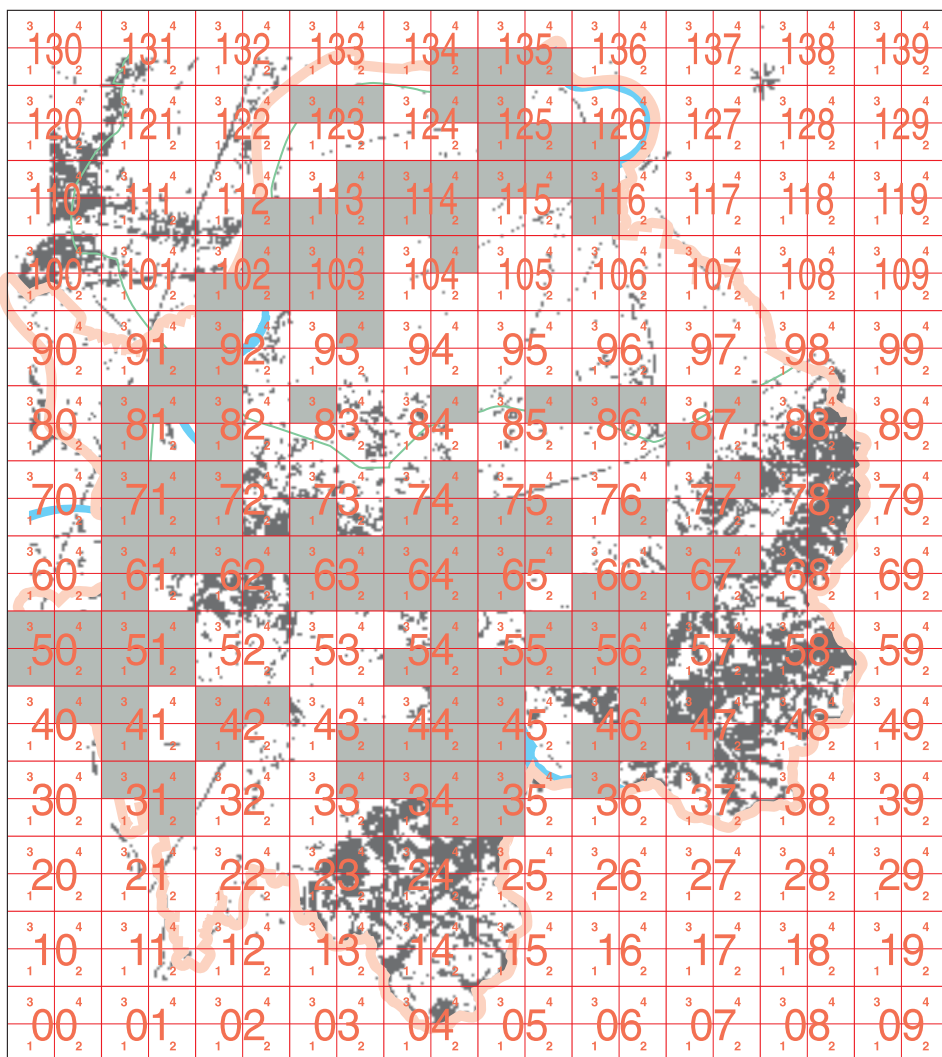
⑦ クズ (マメ科)



五十嵐川、信濃川の土手で定期的な刈り払いがなされているところではなく、河川敷など刈り残した所で旺盛に生えています。日当たりよく広い斜面という格好な条件を持つ林道沿いなど丘陵地帯の開けたところでは斜面を覆い、他の植物を圧迫する旺盛な繁茂ぶりを見せています。

花は、葉にかくれて目立ちませんが色美しく、良い匂いを出して虫を呼んでいます。

根からとったでんぷんが本来の葛粉であり、やはり、根から風邪薬の葛根湯をつくります。茎からは葛布を作ったこともあるそうです。このように秋の七草として親しまれたクズは身近にして、たいへん有用な植物でした。しかし、近年は山林周辺の手入れがなされず、見苦しい景観の所も見られます。



調査月	報告件数	メッシュ数
3		
4		
5	8	35
6	19	48
7	13	33
8	19	59
9	13	40
10	7	24
11	3	5
12		
1		
2		
合計	82	(125) 244

花の時期・色：7～8月 紅紫色

大 き さ：10m

特 徴：葉が大きく茎も太い、多年性のつる植物です。葉は3枚の小葉からなる複葉で、その1枚の大きさが15cm以上にもなります。

植物

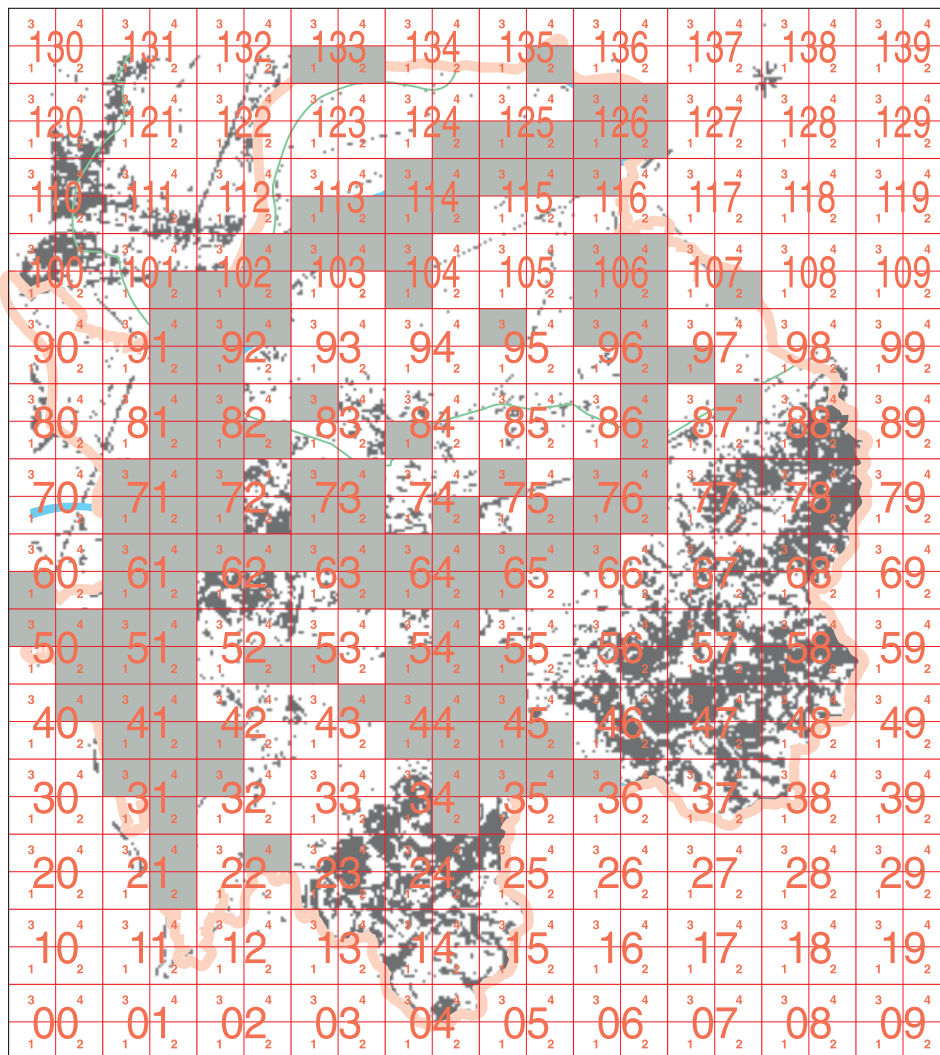
⑧ ヨシ（イネ科）



メッシュ図を見ると、その多くが信濃川や五十嵐川流域が中心で、郊外の小河川域や湿地にも小群落を形成しています。河川改修されたばかりの布施谷川流域にも確認されています。

三条市内を流れる河川は今まで大規模な河川改修は行われておらず、点在するヨシ群落には昔ながらの自然環境をうかがうことができました。ただ、近年の無計画な刈り払いにより、ここを生活の場としてきた多くの生物の減少や、セイタカアワダチソウなどの外来種の進入等で、その景観を少しずつ変えてきています。

2004年7月の大水害により現在、河川改修が進められています^{とよあしはら みずほのくに}が、ぜひ「豊葦原の瑞穂国」の原風景の再現が望まれます。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	3	9
4	2	30
5	8	44
6	11	54
7	5	22
8	13	20
9	10	20
10	12	43
11	6	26
12	2	3
1		
2		
合計	72	(130) 271

花の時期・色：8～10月 薄い紫色

大 き さ：1.5～3m

特 徴：河原や水路など、湿り気のあるところに群生します。アシとも呼ばれススキに似ていますが、葉は短く、花の穂の形や色が違うことから区別できます。

植物

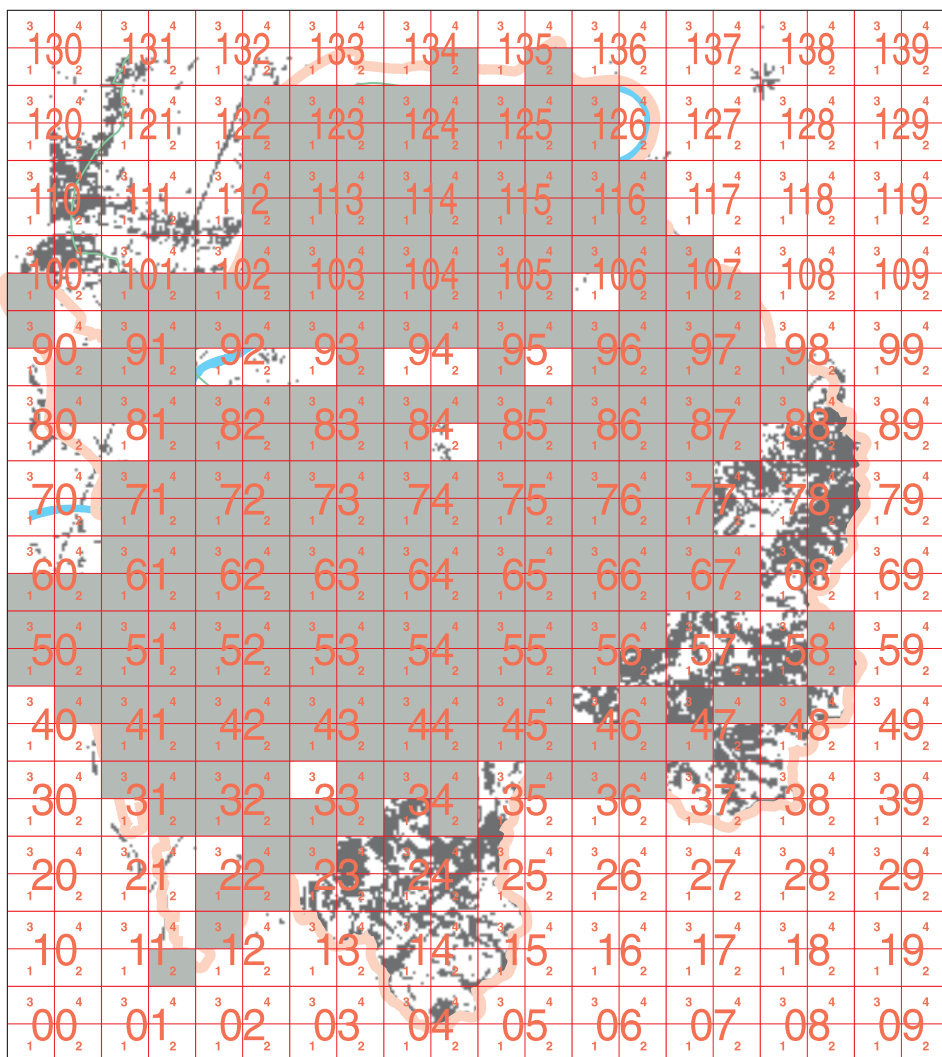
⑨ セイタカアワダチソウ（キク科）



本来の植生が安定している丘陵地内部には侵入できませんが、人の手が多少とも加わったところでは、在来種を駆逐しながらどんどん入り込んでいます。

メッシュ図は平地から林道沿いまで、ほぼベタに塗られました。五十嵐川の河川敷で大群落を作っていましたが、河川改修で一時姿を消すものと思われます。「テツドウグサ」とも言われるように、JR信越線の線路沿いは黄色の帯となって連なります。

晩秋まで長く咲いていて、五十嵐川などの大群落を美しいと肯定するか、ススキ野のような在来種による原風景を尊ぶか、評価は分かれるところです。



調査月	報告件数	メッシュ数
3		
4		
5	5	42
6	8	15
7	1	1
8	7	39
9	14	102
10	28	220
11	14	93
12	2	2
1	1	1
2	1	1
合計	81	(259) 516

花の時期・色： 10～11月 黄色

大 き さ： 1～2m

特 徴： 鉄道の線路わき、土手や河原などに群生します。他の植物の生長を抑える物質を出すため、大群落を作ることがあります。

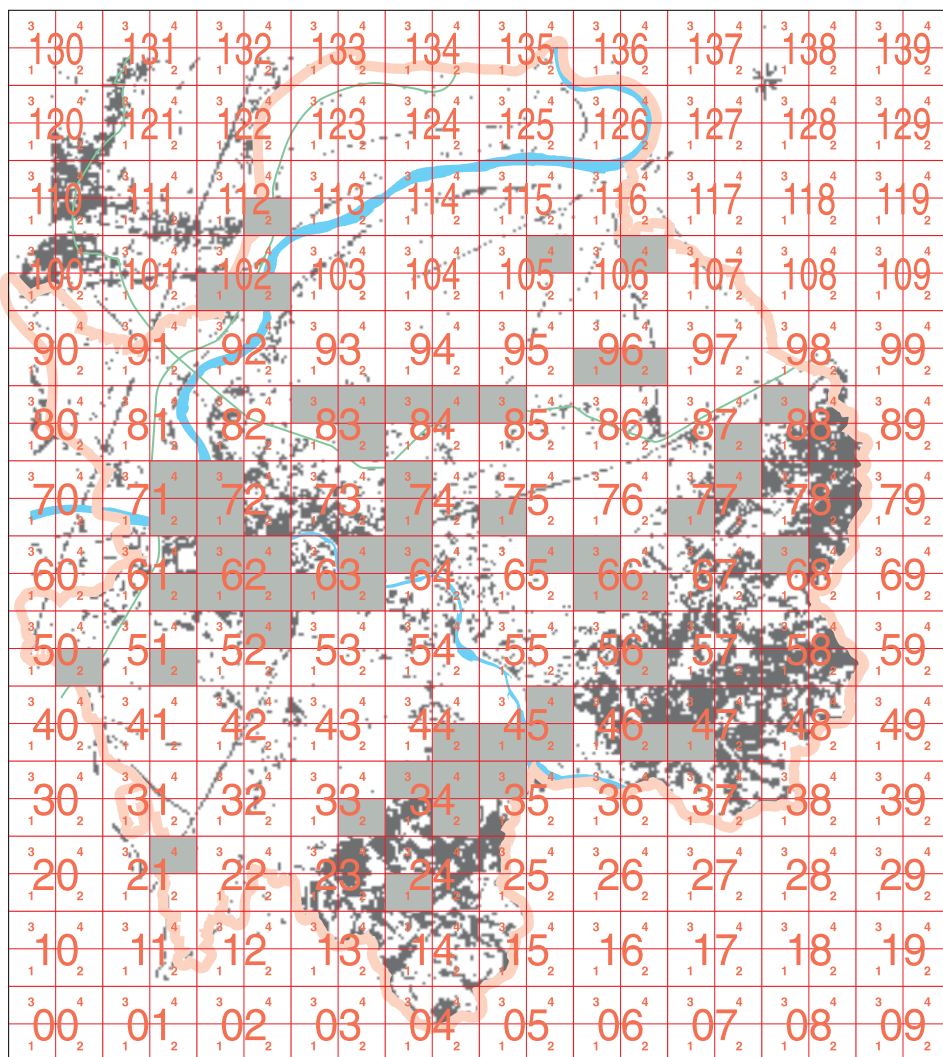


今回の調査で、樹種別ではケヤキ、スギについてサクラ、モミが上位にあがっています。

分布ではスギ、モミは南東部の丘陵地が中心で、それ以外はおおむね市街地の寺社を中心とした平地に生育しており、各々の樹種の特徴と人とのかわりを良く表しています。

環境庁の巨木調査でも樹種別にはケヤキ、スギが上位を占め、三条市でも同様な結果になっています。

恵まれた環境に長年守られ育まれた巨木は、開発の波の中、急速にその姿を消しています。ちなみに三条市での環境庁の巨木（幹周3.0m以上）データにはケヤキ11本、スギ1本が登録されており、これら巨木の保護、保全が望まれます。



調査月	報告件数	メッシュ数
3	42	22
4	22	30
5	5	9
6	9	12
7	6	5
8	7	9
9	7	5
10	3	2
11	1	2
12	1	2
1	1	1
2		
合計	104	(64) 99

特 徴： ケヤキ、スギ、イチヨウ、エノキなどの大きな樹木が残っているところは、寺や神社、農家の屋敷です。そこでは長い間、環境の変化がなかったことがうかがえます。

幹周り2m以上の樹木の種類と場所

樹種名		メッシュ図の場所			
	ケヤキ	50-2、51-2、61-2、63-1、63-4、64-3、65-4、66-1、66-2、66-3、72-3、74-1、74-3、75-1、83-3、83-4、84-3、84-4、85-3、87-2、96-1、96-2、102-2、105-4、106-4			
	スギ	24-1、34-2、34-3、34-4、35-3、44-2、44-3、46-2、47-1、56-2、66-1、66-2、66-3、68-3、75-1、77-1、86-1、88-3			
	サクラ	21-4、35-3、44-3、45-1、45-2、45-4、56-3、61-2、62-3、62-4、63-1			
	モミ	34-3、44-2、44-3、58-3、66-1、68-3、77-4、87-2			
	イチョウ	62-1、62-3、62-4、63-1、72-3、83-2			
	ヒマラヤスギ	45-4、52-4、62-2、72-3、85-3			
	エノキ	62-2、62-3、63-2、102-2			
	ポプラ (セイヨウハコヤナギ)	71-2、71-4、112-2			
	アカマツ	61-2		スダジイ	72-3
	イトヒバ	61-2		チャボヒバ	88-3
	クロマツ	61-2		ハクモクレン	61-2
	クヌギ	57-2		ハンノキ	72-1
	コブシ	45-1		ブナ	58-3
	サイカチ	63-1		メタセコイヤ (アケボノスギ)	61-2
	スズカケノキ (プラタナス)	72-3		モミジ	44-3

※サクラ、モミジなどは、種までは特定していません。